

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	い〜まCrea中川Ⅱ		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日		令和8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されており、専門的な療育の視点に基づくサービスができていくことが強みだと考えています。	子どものことを十分に理解するよう努めるとともに、保護者のニーズを普段から把握するように努めています。普段から保護者とのコミュニケーションを大切に、きめ細やかな対応を心掛けていることが成果として繋がっていると考えています。	職員が変わっても継続して行っていけるよう職員の意識を高め、組織として対応する企業風土を醸成することが大切だと考えます。
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていることについて高い評価を頂きました。療育に関する日々の実践・研究の積み重ねがこうしたことに繋がっていると考えています。	療育に関する研修を自社にて積極的に行い、子ども支援や保護者支援に役立てています。子育てに関する相談を面談時や送迎の引継ぎ時、電話、メール等で承り、応えていることで評価を頂いていることと考えます。	社内の研修内容の充実を図るとともに、社内の研修補助金を活用して、社外研修への積極的な参加を促していきたいと考えます。
3	子どもが安心感を持って通所していること、子どもが通所を楽しみにしていることについて高い評価を頂きました。とてもありがたいことです。これからも継続して努力していきたいと考えています。	子どもたちへの支援は安心感から始まることを大切に、「いい居間」のような「い〜ま」を目指して来ました。安心感を抱きながら新しいことにチャレンジしていけるような場作りの大切さを職員間で共有し日々高め合っています。	子どもが安心感を持って通所することや子どもが通所を楽しむことは、継続して努力をすることによって担保されるものだと思います。スタッフの資質の向上や取り組み内容の充実など総合的な結果として評価していただいていることを忘れずに支援することが大切だと考えます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているかについての評価が比較的低い結果となりました。弊社の課題であると考えます。	活動している内容を広く周知できていないこと、広報力の不足が原因としてあると思います。Instagramを開設しましたが、広く知れ渡るには少し時間がかかるようです。	ホームページの刷新、Instagramの開設等、順次、広報に力を入れている状況です。内容の充実を図り、継続して取組、積極的にこれらの発信をしていきたいと考えます。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますかについての評価が比較的低い結果となりました。弊社の課題であると考えます。	ご家族への相談や助言などを積極的に行う一方で、ご家族に対して、家族支援プログラムや研修会などの機会はまだまだ十分ではないと考えています。具体的には、何をどう伝えたらよいか、情報内容の選別や情報伝達に関するノウハウが不足していることが関連していると思われます。	今後は、ペアレントトレーニングの進め方などのノウハウを学んでいく必要があると考えます。
3			